

# 宮崎 均

筑波大学生命環境系・教授

昭和32年7月2日生

1985年 筑波大学・農学研究科・応用生命化学専攻修了 農学博士

1985年 日本学術振興会奨励研究員

1985年～1993年 筑波大学・応用生物化学系・講師（遺伝子実験センター）

1993年～2004年 同上・准教授（遺伝子実験センター）

2005年～現在 同上・生命環境科学研究科・食機能探査科学分野・教授

（2005年～2010年：北アメリカ研究センター・バイオ部門）

## 研究内容：

1985年～1993年

昇圧因子アンギオテンシンIIおよびエンドセリンに関する生化学的・分子生物学的研究：

この間、アンギオテンシンIIタイプ2受容体およびエンドセリン受容体サブタイプが存在を初めて同定し、これら受容体の細胞内シグナルなどの研究に従事した。

○1993年～2005年

アンギオテンシンIIおよび脱リン酸化酵素に焦点を当てた細胞生物学的研究：

この間、卵巣顆粒膜細胞や血管壁細胞に発現する多数のチロシンホスファターゼを明らかにし、それらの幾つかについて、卵巣機能や動脈硬化との関連を明らかにした。

2005年～現在

食由来成分を用いた人や家畜の疾病予防・改善に関する研究：

人に関してはメタボリックシンドロームや動脈硬化の予防・改善、家畜に関しては

暑熱ストレスに対する軽減効果に焦点を当て、種々の食由来化合物を用い、

分子から個体レベルまでの研究を行っている。

## 受賞歴・表彰歴：

1985年：井上学術奨励賞、ヒトレニン遺伝子の単離と性質決定、井上科学振興財団

1995年：つくば賞（共同受賞：村上和雄、宮崎均、深水昭吉、谷本啓司、八神健一、杉山文博）

つくば高血圧マウスとつくば低血圧マウスの創作とその解析、茨城県科学技術振興財団

ヒト試験・臨床試験

